

## Q&amp;A戦略 FY2015-FY2017

2015年4月現在

J-QANは、2017年度終了時点で、3分野での取組みの目標が達成されていることを目指す。年度単位の計画は別途たてる。

2015年度に主に注力することは☆つき事項とする。

## ◆Q&amp;A主流化

	目指すこと
☆個別NGO	Q&Aを理解し、その事業を通じ実践することで、被災者/コミュニティに対し質の高い支援を行うことができる
☆JPF	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請書・報告書においてQ&amp;Aを考えるシステムになっている(現在はSphere基準が入っているが形式的)</li> <li>JPF 助成審査委員会、モニタリング担当者、スタッフ等がQ&amp;Aを理解している</li> <li>審査員の条件、研修クライテリアにQ&amp;A知識を入れる</li> </ul>
MOFA	<ul style="list-style-type: none"> <li>ODAの評価項目が変更される:事前評価表、事業計画書、申請書にQ&amp;A項目が入る。</li> <li>国際協力局評価室の評価業務仕様書にQ&amp;A基準を入れる→評価専門のコンサルタント社・個人の理解促進</li> </ul>
企業	Q&Aを意識した支援を行う。(現在は、自企業内や支援者へのアカウントビリティは意識しているが、受益者へのアカウントビリティまで意識していない。)
学校	学校教育でQ&Aが教えられている。

## ◆アジア、世界におけるリーダーシップ

	目指すこと
☆アジア地域への/ アジア地域からの発信	アジアの経験を踏まえたツール、モジュール、ガイドラインの独自開発&発信、共同開発ができる
☆CHS	<ul style="list-style-type: none"> <li>Quality and Accountability Verification System/Serviceに参加する。</li> <li>認証者・機関になり、アジアに普及する(日本が主催)</li> </ul>
☆トレーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>Q&amp;A業界での世界レベルのトレーナーがいる</li> <li>キャリア形成:フリーランスでも生計をたてられる</li> <li>大学院レベルのプログラムを作る(世界の各地でtraining+Practice)。導入コンサルティングも行う。</li> </ul>

## ◆制度・技術

	目指すこと
☆質向上	支援の質を上げるために実施者(=NGO、NPO、地方自治体、自衛隊、医療関係者)がQ&Aを理解する。(現状:「質」のとらえ方が異なる。共通認識がない。)
自治体	地域防災計画にQ&Aを入れる(「発災前の教育」部分)
自衛隊	自衛隊の活動にQ&Aを入れる